

**\* 医師が記入した登園許可書が必要な感染症**

感染症名	感染しやすい期間	登園の基準
麻疹(はしか)	発症1日前から発疹出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
インフルエンザ	症状がある期間(発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い)	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで。(乳幼児にあっては、3日を経過するまで)
風疹	発疹出現の前7日から後7日間くらい。	発疹が消失してから
水痘(みずぼうそう)	発疹出現の1~2日前から痂皮形成まで。	すべての発疹が痂皮化してから
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発症3日前から耳下腺腫脹後4日。	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで。
結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで。
咽頭結膜熱(プール熱)	発熱、充血等症状出現した数日間。	主な症状が消え、2日経過してから
流行性角結膜炎(はやり目)	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため、結膜炎の症状が消失してから。
百日咳	抗菌剤を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで。	特有の咳が消失するまで。又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで。
腸管出血性大腸菌感染症 O-157、O-26、O-111等		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの。
ウイルス性胃腸炎(感染性胃腸炎) ノロ、ロタ、アデノウイルス等	症状がある間と、症状消失後1週間(量は減少していくが、数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要)	嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること。
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1~2週間、便から数週間~数ヶ月排出される。	医師により感染の恐れがないと認めるまで。
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで。

**\* 医師の診断を受け、保護者が記入する登園届が望ましい感染症**

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌剤内服後24~48時間経過していること。
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること。
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響なく、普段の食事がとれること。
伝染性紅斑(リンゴ病)	発疹出現前の1週間	全身状態が良いこと。
ヘルパンギーナ	急性期の数日間(便の中に1か月程度ウイルスを排泄しているため注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること。
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し全身状態が良いこと。
突発性発疹		解熱し機嫌が良く、全身状態が良いこと。
帯状疱疹(ヘルペス)	水疱を形成している間	すべての発疹が痂皮化してから

<参考資料>

2012年改訂版「保育所における感染症対策ガイドライン」厚生労働省

2015年1月改訂 病後児室